

今後の委員会の進め方

1. これまでの委員会

円山川流域委員会では、設立目的の一つである「整備計画原案について意見を述べる」ために現地視察、委員や河川管理者による現状説明等により、円山川の現状に関する情報の共有化を進めてきました。

この情報の共有化に関しては、委員へのヒアリングの回答や委員会での意見、議論の内容から、ある程度進んできているものと考えられます。

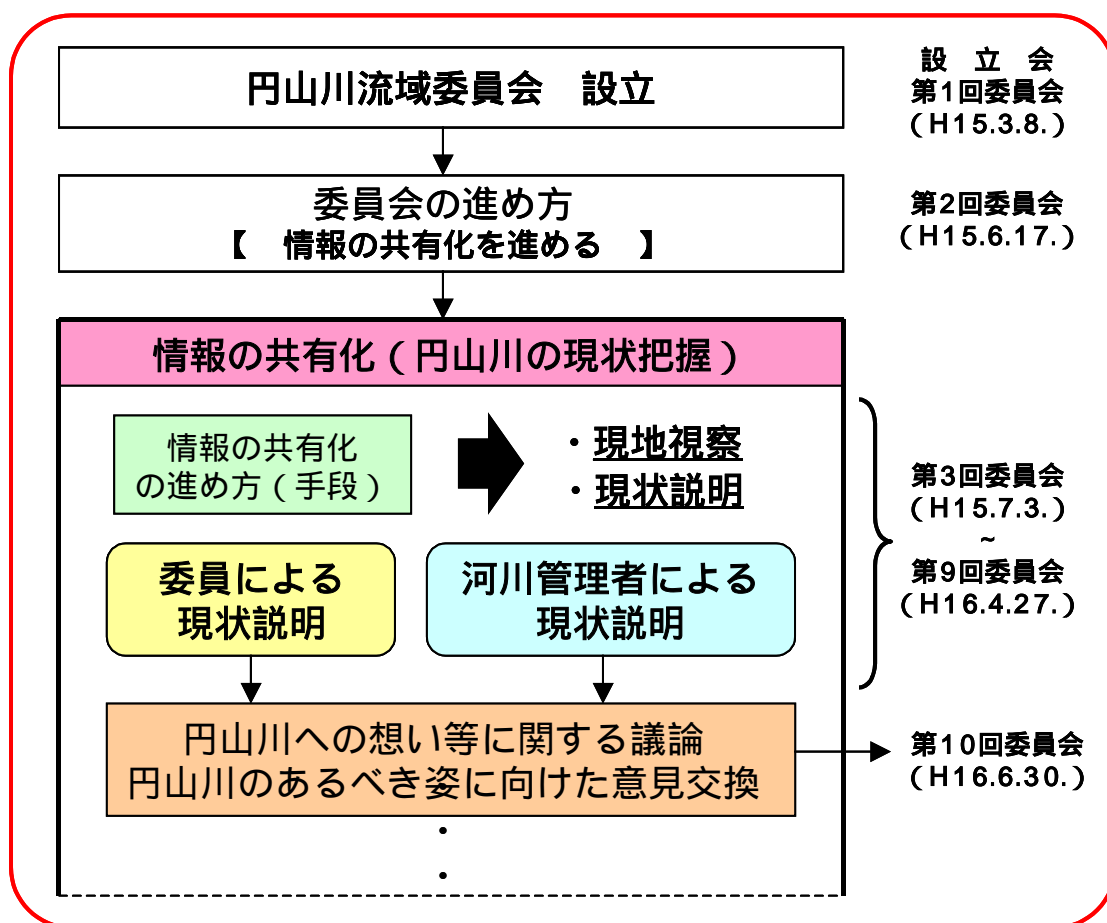


図 3.1 これまでの委員会の進行状況

2. 今後の委員会の進め方

情報の共有化を進めながら、円山川のあるべき姿（理想の円山川）に関する議論を行い、円山川河川整備計画に向けた課題抽出、議論を進めていくこととなります。

また、円山川流域委員会のもう一つの設立目的である「関係住民意見の聴取方法について意見を述べる」ために、住民意見の聴取方法等に関する議論を並行して進めていく必要があります。

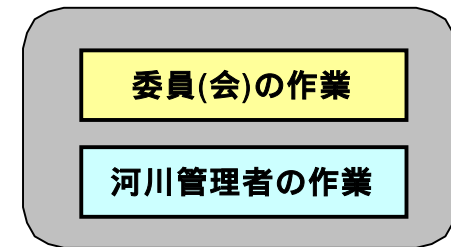
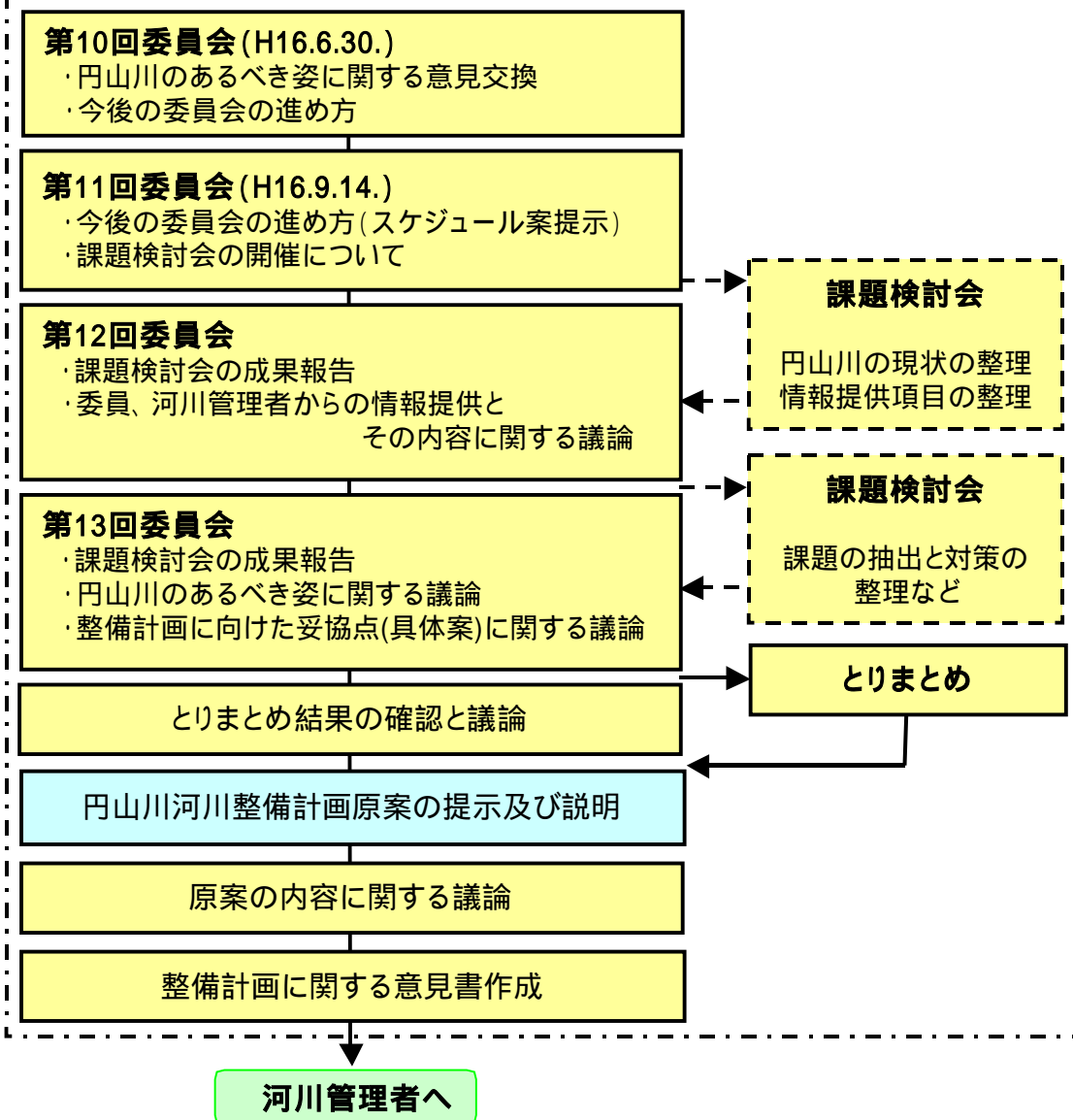
図 3.2 に今後の具体的な委員会の進め方（スケジュール案）を示します。

資料 3.1 に課題検討会の開催について、資料 3.2 に課題検討会の進め方を示します。

【意見交換】

課題検討会の開催を含めた今後の委員会の進め方に関して、意見を申し上げます。

河川整備計画に関する委員会



住民意見の聴取方法に関する委員会

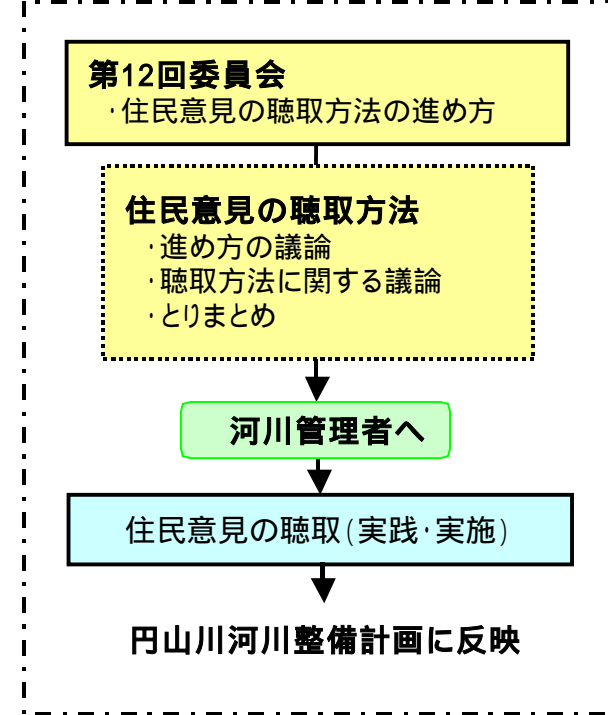


図 3.2 今後の具体的な委員会の進め方 (スケジュール案)